

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY



# 自由民主党

会報 令和7年 2025 5月号

ホームページもチェック! 葛飾区議会 自由民主党議員団 検索 jimin-katsushika.com



## 令和7年第一回定例会が開催されました

### 代表質問

筒井たかひさ

**◆令和7年度当初予算案**

**問** 予算編成に当たっては、経営改革を推し進めたとしているが、どのような過程を経て、具体的にどのように進めてきたのか伺う。

**答** 所管課による自己評価と行政評価委員会による行政評価を実施し、改善につなげてきた。また、中期実施計画で掲げた計画事業などを着実に推進するため、各部と意見交換をするトップヒアリングを2回実施した。これらの過程を経て、優先的に取り組むべき事業に重点的かつ効果的に配分する予算編成に向けて、新規事業や拡大事業など重要施策に関して区長査定を行い、予算を調整した。

**◆公共施設と区有地の有効活用**

**問** 将来における人口構造の変化を見据えると、税収の減少とともに、社会保障費の増大が考えられるが、財政運営上、または自治体経営という観点から、公共施設の在り方について、どのような対策が必要であるか伺う。

**答** 施設の将来の在り方や更新時期、敷地の状況を的確に把握し、最適化の視点で施設経営を進めていく。また、公共施設の過半を占める学校は、大きな敷地を必要とし、容易には移動できないことから、特に計画

**◆スタジアム構想**

**問** 区は私学事業団総合運動場活用プロジェクトを中期実施計画の主要プロジェクトに位置付け、本敷地の基礎調査を行っている。その結果を踏まえ、今後もスタジアム構想を進めていくことになりはしないか伺う。

**答** スタジアムの整備によって多くの方が集う交流拠点となり、地域経済の活性化とともに防災機能の向上により安全・安心な街づくりにつなげていくかを整理した上で、具体化していく必要があると考えており、将来的にはスタジアムを有する都市計画公園として整備していく方向で検討していることに変わりはない。

**◆契約制度**

**問** 本区の契約制度を取り巻く状況の変化をどのように認識し、どのような課題があるのか見解を伺う。

**答** 昨今の急激な物価高騰は、企業経営に大きな影響を与えているほか、働き手を確保するための人件費の負担も重くなっていること認識している。こうした中、本区が発注する調達や工事は、区内中小企業の健全育成と区内産業活性化の役割を担っていることから、適切に受注機会を提供することが重要である。今後も社会情勢の変化に対応できる契約制度となるよう、必要な見直しを進めていく。

※他の質問項目 随意契約 など

## 誰もが安心して暮らせる葛飾の実現のために

### 総務費

総務管理費の総合庁舎整備基金積立金は物価上昇の見通しが立たないためこれまでの計画以上に積み増しが必要で、起債を含めて検討しているが、支出は抑え長期的に安定した財源確保をするよう強く要望する。区役所庁舎の冷暖房の稼働時間を拡大したことを高く評価し、引き続き区民サービスの向上と職員の就労環境の改善に努めるよう要望。かつしか若者未来会議は、今年度の活動で得られた課題を検証し今後の事業に活かしていくよう求める。協働推進経費は、直接地域の声を聞く機会を増やし、地域課題を施策へ反映させるよう望む。リリオ亀有リノベーションプロジェクト事業については、費用対効果を調査し事業の在り方を検討すべき。

### 産業経済費

こち亀記念館オープンを通して区全体に経済効果が広がるように、グッズ販売を希望する店舗への対応継続を望む。

### 福祉費

重度障害を持つ方が自立した生活を送れる先駆的な取組みを要望する。区内の社交場となる銭湯に対して継続支援を求める。デフリンピックPR委託費は、葛飾区聴力障害者協会や葛飾ろう学校と連携したPRや職員の手話講習会に努めていただきたい。補聴器購入助成経費は、サポートが整った店舗であれば購入できるよう店舗拡大と事業開始の前倒しを要望する。

### 衛生費

自殺対策事業にしっかりと予算をかけて取り組むべき。在宅療養患者搬送支援事業費助成は、近年の救急搬送が逼迫する状況を補う事業であり、利用医療機関や登録患者数の拡大に向けた説明や周知支援、利用基準の緩和検討を要望する。

### 環境費

全国みどりや花のフェアかつしか事業経費は、中期実施計画から5億円も増えており、実行委員会方式では予算の使途が見えないため、実行委員会で見なければできないこと、区ができることの仕分けを行い、負担金を見直して議会への報告を求める。地域間連携森林整備事業費等負担金は、奥多摩町の名産わさびなどに触れる場やその地域を知る機会を織り交ぜよう協議会への提言を望む。製品プラスチック資源化がターゲットし、課題を回収委託事業者と協議を重ねて解決していただきたい。

### 都市整備費

道路補修課移転庁舎改修経費は、転出希望者が不明確な今、事業用代替地を宅地整備するには時期尚早であり、見直しを求める。

### 教育費

学校規模の適正化は将来の児童・生徒数や学校の位置などを考えながら配置の検討を望む。金町駅から科学教育センターへの案内板の設置を要望。学校外水泳指導は各学校の課題に合わせた区教委のサポートを要望。デジタル教科書の導入は課題を整理し慎重な検討を望む。教育情報化推進においては民間企業のタイピングソフトを活用し、生徒のタイピングの更なるスキルアップを推進すべき。双葉中学校夜間学級はPRを拡充し積極的な周知を望む。放課後の家庭を活用した遊び場の拡充に関しては委託の手法についても柔軟な検討を望む。RUNフェスタの公道開催を改めて強く要望する。体育施設を活用した高齢者の健康づくりの推進を要望する。

## 全員協議会を経て、バルサアカデミー葛飾校運営法人へのグラウンド優先利用に反対する決議を全会一致で可決

**バルサアカデミー葛飾校運営法人へのグラウンド優先利用に反対する決議**

葛飾区議会は、区のスポーツ振興と健全な社会の実現を目指し、常に透明性と公正を重んじて活動してきたところである。しかしながら、現在、不透明な交際費の支出、区に何ら相談もなく行われた事業譲渡契約など、不透明な経営が行われていたバルサアカデミー葛飾校旧運営法人である一般財団法人キッズチャレンジ未来の全容解明がなされないまま、新たな運営法人に対しグラウンドの優先利用が認められようとしている。

区民が安心してスポーツを楽しむためには、信頼できる団体との連携が不可欠であり、これまでの事業運営について何ら説明がないままグラウンドを優先利用させることは、区のスポーツ環境を悪化させ、健全な競技活動を阻害するおそれがある。

したがって、葛飾区議会は、今後も地域のスポーツ振興において、透明性と公正を重視した取組を推進していくことを求め、区が新たな運営法人に対し一般財団法人キッズチャレンジ未来が介在した状況で、グラウンドを優先利用させることに断固反対する。また、全容解明すべく、区長を先頭に調査することを強く求める。以上、決議する。



# 自由民主党

■発行/葛飾区議会自由民主党議員団(葛飾区立石5-13-1)  
 ■電話: 03-3695-1111  
 ■発行責任者/筒井たかひさ  
 ■編集長/齊藤大介  
 ■編集委員/梅沢とよかず 高木信明

お気軽にご意見を  
お寄せください!  
葛飾区自民党HP



◆新庁舎

問 新庁舎建設に係る事業費が短期間で大幅に増大している要因と今後の見通し、それに対する具体的な対応策について伺う。

答 建設業界における労働環境の改善と賃金アップの動きに加え、大規模な都市再生プロジェクト等が全国各地で進行している影響で資機材・工事価格が高騰し、事業費上昇の社会的要因となっており、今後もその傾向が続くものと認識している。また、東棟は庁舎としての機能や性能が求められる特殊な建物で施工業者が限られることから、その影響を大きく受ける要因となっている。建設事業費の上昇は、総合庁舎に係る床の取得価格にも影響する。今後の対応としては、再開発組合と特定業務代行者の工事請負契約に物価等の増減に対応するスライド条項を盛り込み、価格の増加などが抑制されるよう再開発組合に改めて要請する。

※他の質問項目 コスト縮減 など

一般質問



秋家聡明

一人一人の育ちを支援

葛飾の明るい未来のために

◆持続可能な子育てにおける教育施策の無償化

問 子育ての喜びや楽しさを感じられる施策を、子ども未来プラザを使って展開していると思うが、事業に対する令和7年度への課題や新しい取り組みについて伺う。

答 区としても、被災地に派遣した職員の見学や、被災経験した自治体における課題などを踏まえ、適宜見直しを進める必要があると考えている。また応急対策連絡会(物流部会)を新たに立ち上げ、実効性ある物流輸送体制構築への活動を開始した。これらの取り組みにより、今後マニュアルの修正やBCP、受援計画の見直しにつなげていく。

◆子ども達の相談窓口について

問 「24時間子供SOSダイヤル」のような窓口を、子ども達のタブレット端末のホーム画面にアイコンとして追加し、困った時にはすぐに相談できる体制を作ってはいかがか。教育委員会どのように考えているのか伺う。

答 相談したいときにすぐに相談先が分かり、個人を特定される心配なく相談できることは重要と考えているため、子どもたちに配布している一人一台タブレット端末に「24時間子供SOSダイヤル」のようにいつでも相談できる外部の相談窓口のショートカットアイコンを配置することは非常に有効であると考えている。

◆PTA活動の支援について

問 熱中症対策用テントや防災ヘルメットはPTA会費に頼らない形で進めるべきである。区が購入する予定の物品を示し、PTA会費からの支出を減らすべきであるが見解を伺う。

答 ヘルメットなど、学校での活動において必要となる物品については、まず現状を把握し、計画的な入替、PTAの負担軽減にむけた検討を進めていく。



常任委員会ダイジェスト

区政に関わる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託し、議論しました。

総務委員会



大森委員、秋家委員長、峯岸委員

令和7年度一般会計補正予算、葛飾区公文書等管理条例、葛飾区情報公開条例の一部を改正する条例工事請負契約締結などの議案や請願の審査のほか、総合庁舎整備に係る保留床取得、ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度、トレーラーハウス型喫煙所の整備、戸籍の氏名振り仮名の記載、地域の観光需要対応支援事業の助成などの、所管事項の庶務報告を受けました。

わが会派は、補正予算や議案は妥当であると認め賛同した上で、総合庁舎の整備にあたっては、今できる最大限の努力により立石の開発と、駅前のにぎわいを取り戻せるように、強く要望しました。

保健福祉委員会



齊藤副委員長、筒井委員、高木委員

葛飾区シニア活動支援センター条例の一部を改正する条例などの議案や請願の審査のほか、補正予算、出産・子育て応援ギフト給付事業の内容変更等、高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業、東京2025デフリンピックPRイベントの実施、医療安全支援センターの開設、かつしかハッピーお届け隊事業の実施、幼児期におけるむし歯予防対策の充実、葛飾区子ども・若者総合計画(案)などの所管の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案に賛同した上で、乳幼児期の虫歯予防にあたっては、子を持つ親に対して子どもの年齢に応じたPRを十分行うよう要望しました。

文教委員会



工藤委員、池田委員長、梅沢委員

郷土と天文の博物館条例の一部改正などの議案や請願の審査のほか、補正予算、児童・生徒用1人1台タブレット端末の更新、区立中学校部活動の地域連携・地域移行の取組、バルサアカデミー葛飾校への対応、かつしか教育プランの取組、義務教育に係る費用の一部無償化の実施、などの所管の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提案の議案は妥当であると認め賛同した上で、中学校部活動の地域連携・地域移行にあたっては、拙速に進めるのではなく、これまでの取組を踏まえ、葛飾区にあった実施方法についてしっかりと検討し、進めていくよう要望しました。

建設環境委員会



安西副委員長、伊藤委員、秋本委員

葛飾区営住宅条例の一部改正、葛飾区立公園条例の一部改正などの議案の審査のほか、補正予算、「ゼロカーボンシティ特別区」に向けた取組、葛飾区建築物再生可能エネルギー利用促進計画(案)、(仮称)葛飾区移動等円滑化促進方針の案、製品プラスチックに係るモデル回収の状況等、柴又川基まちなみ館及び柴又公園拡張部の指定管理者の公募などの所管の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案は妥当であると認め賛同した上で、柴又川基まちなみ館等の指定管理者選定にあたっては、地域のにぎわいの創出、地域経済の波及効果を目指して、しっかりと業者選定を行うよう強く要望しました。

一般質問



さいとう大介

よりよい葛飾のために  
明確なビジョンを持つて

◆新金線の旅客化

問 早期実現を目指すとともに、地域に根差す持続的な交通機関としての将来像を描きながら進めていく必要があると考えますが、区の見解を伺う。

答 早期実現の観点からは、金町駅付近への接続などの課題を踏まえた整備方法の検討が必要となる。引き続き関係機関と協議を行い、さまざまな可能性について検討を行いながら旅客化の将来像を描いていく必要があると考える。また、水元方面への延伸などにも柔軟な発想を持って取り組み、区の発展に寄与する持続的な交通機関となるよう進めていく。

※他の質問項目 整備基金 など

◆今後の自治町会活動の支援策

問 自治町会活動に参加してもらおう「きっかけ」や活動をするための支援の拡大を図るべきだと思いが、今後、本区はどのようなことに新たに取組んでいくのか、区の見解を伺う。

答 地域住民が交流する場の機会創出こそが「きっかけ」づくりとしては重要であると考え、地域力向上事業費助成の使用可能回数を複数回にするとともに上限額の引き上げを考えている。さらに、テントの設置などは外部委託を活用することも視野に入

れるなど支援策の拡充を行うことを考えている。

※他の質問項目 窓口の一本化 など

他の質問件名 「モンチャレ」の今後の展開、高齢者の地域とのつながりづくり

総括質疑



梅沢とよかず

予算審査特別委員会総括質疑

◆収納業務の一元化と  
収納率向上について

問 公債権に限らず、私債権も含めて収納対策を進めていくためには、全庁一丸となって取り組めるようにする機能についても、新たな収納対策課には担っていたいただきたいと考えますが、区の見解を伺う。

答 収納対策課のノウハウの共有をはじめ、全庁一丸の取り組みを推進することができるとともに、令和7年度から、収納対策本部を再編します。また、全庁一丸となって取り組んでいくためには、基本それぞれが所管としての責任を果たしていくこととなるが収納対策課としては、全庁を横断する調整力やリーダーシップを発揮し、横串としての機能や、全体を前に進めていくための推進役といった機能を担いたいと考えている。

◆災害備蓄と受援体制の構築について

問 被災地に派遣した職員の知見を集めながら、受援計画を速やかに見直ししていく必要があると考えますが、区の見解を伺う。